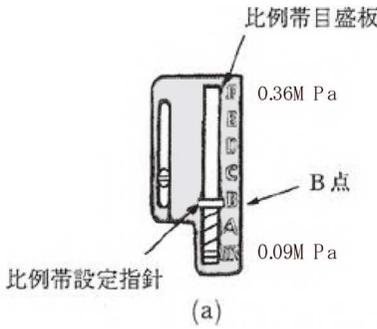
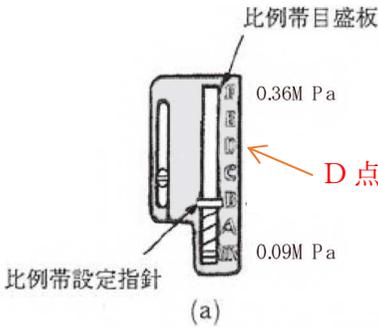


1級ボイラー技士試験公表問題解答解説 2022年版 正誤表

下記のとおり、誤植がありましたので謹んで訂正いたします。

頁	訂正箇所	誤	正
15	解説 と 図 1(a)	<p>比例帯は、図 1(a)における <b>B</b> 点に設定されている。比例帯の目盛範囲(F 点 = 0.36 MPa, MIN 点 = 0.09 MPa)を比例配分すると 1 目盛りは <math>0.045\text{MPa} \left[ \frac{0.36-0.09}{6} \right]</math> となる。</p> <p>したがって、<b>B</b> 点は <math>0.09 + (0.045 \times 4) = 0.27 \text{ MPa}</math> となるので、<b>(4)</b> の設定圧力 0.65MPa から 0.92 MPa の間で比例制御が行われる。</p>  <p style="text-align: center;">(a)</p> <p style="text-align: center;">図 1 比例式蒸気圧力調節器</p>	<p>比例帯は、図 1(a)における <b>D</b> 点に設定されている。比例帯の目盛範囲(F 点 = 0.36 MPa, MIN 点 = 0.09 MPa)を比例配分すると 1 目盛りは <math>0.045\text{MPa} \left[ \frac{0.36-0.09}{6} \right]</math> となる。</p> <p>したがって、<b>D</b> 点は <math>0.09 + (0.045 \times 4) = 0.27 \text{ MPa}</math> となるので、<b>(3)</b> の設定圧力 0.65MPa から 0.92 MPa の間で比例制御が行われる。</p>  <p style="text-align: center;">(a)</p> <p style="text-align: center;">図 1 比例式蒸気圧力調節器</p>
17	解説(3)	<p>自然循環式ボイラーでは、熱負荷を増すと上昇管内の気水混合体物の平均密度 <b>(m)</b> が小さくなり、循環力は増加する。</p>	<p>自然循環式ボイラーでは、熱負荷を増すと上昇管内の気水混合体物の平均密度 <b>(ρm)</b> が小さくなり、循環力は増加する。</p>
25	下から 2 行目	<p>[答] (5) ※解説文については[答](3)が誤りとなっているので正しい。</p>	<p>[答] (3)</p>
114	解説(1) 下から 2 行目	<p>問の (1) の記述は、<b>酸化</b>物イオン濃度ではなく<b>酸素</b>イオン濃度となっているため、誤りである。</p>	<p>問の (1) の記述は、<b>水酸化</b>物イオン濃度ではなく<b>酸素</b>イオン濃度となっているため、誤りである。</p>